

ダイヤルロック支柱

ラックニー「リガ」ACL 811N 取扱説明書

警告（この注意事項を守らないと、使用者が重傷を負うおそれがあります）

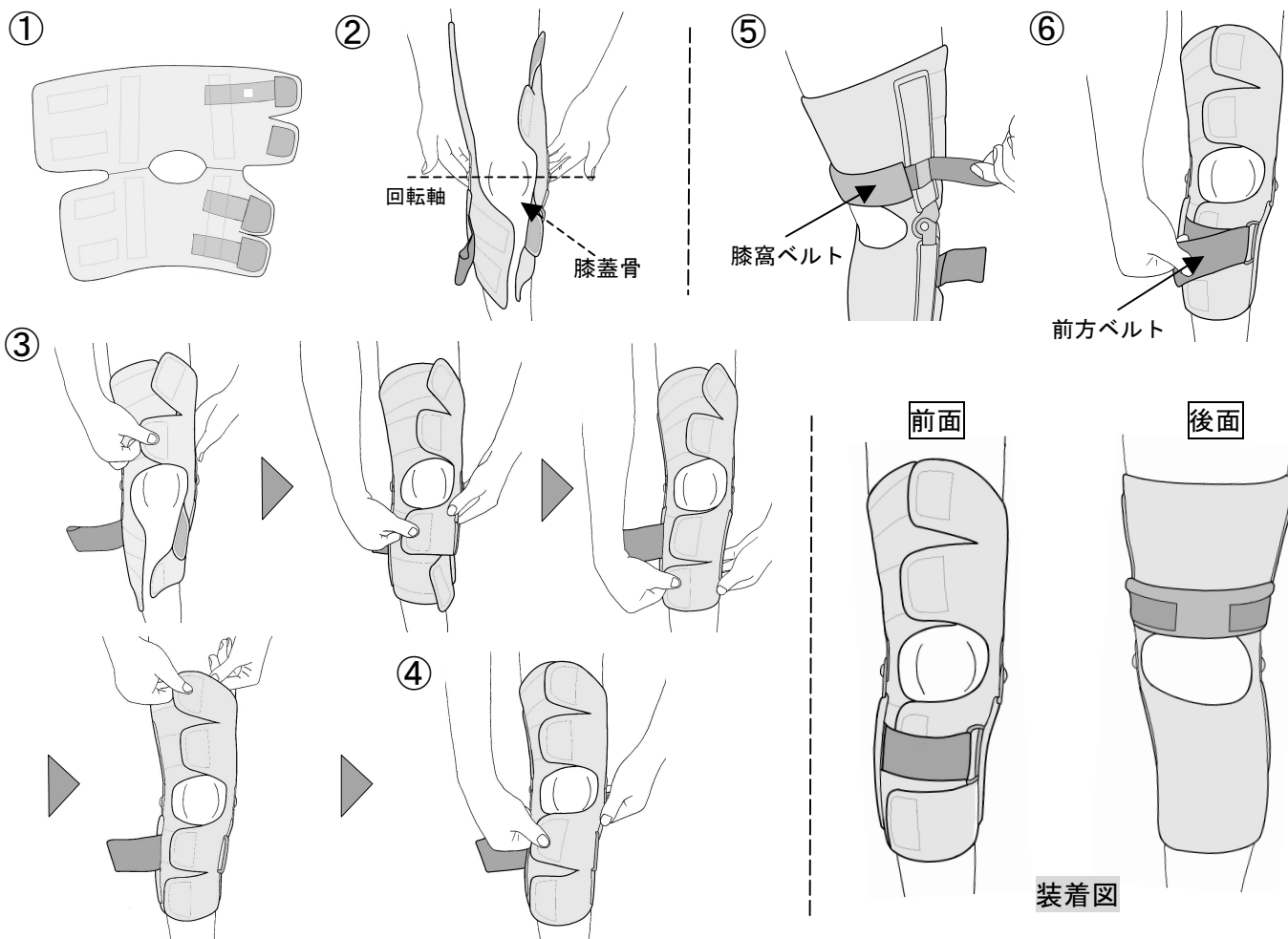
- 本装具は医師の処方のもと、義肢装具士が調整し、ご使用いただく装具です。
- 本装具の使用に際しては医師の指示に従い、義肢装具士など医療従事者の十分な指導を受け、正しくご使用ください。
- 本装具の使用により痛みやしびれ、かぶれ等の異常が生じた場合は使用を中止し、速やかに医師または義肢装具士に相談してください。
- 使用期間及び使用状況によって、縫製部分などが破損する場合があります。破損した場合はすぐに使用を中止してください。
- 本装具の加工、改造は絶対に行わないでください。
- ご本人以外のご使用はお止めください。

注意（この注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害のおそれがあります）

- 装着前に必ず本体、ベルト、支柱等に異常がないか確認してください。
- 装着の際は、前後、上下、左右、表裏を確認し装着してください。
- ベルトは緩まないように装着してください。
- 使用中にずれ、緩みが生じた場合は必ず正しい位置に装着し直してください。
- 常に乾燥させてご使用ください。

装着方法（右膝の場合）

- 本装具の上下、表裏を確認してください。〔①〕
- 本体を後方から膝にあて、左右の支柱の継手部分（回転軸）を膝蓋骨の中央の横に位置させます。〔②〕
- 膝蓋骨（膝のお皿）のすぐ上、すぐ下、下腿部、大腿部の順にベルトをとめていきます。〔③〕再度、全てのベルトを締め直します。特に膝蓋骨のすぐ下のベルトはしっかりと締めてください。〔④〕
- 膝窩ベルトをきつ過ぎない程度に締めてください。〔⑤〕
- 最後に下腿部の前方ベルトをしっかりと締めてください。〔⑥〕

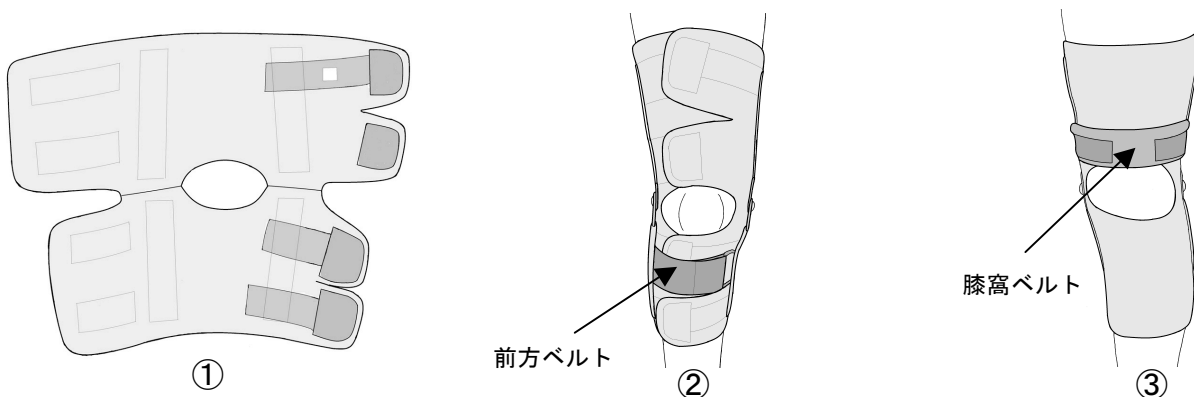


洗濯について

- 必ず、支柱と膝窩ベルトを本体から外し、中性洗剤で手洗いし、よく水気を切り、陰干ししてください。
- 漂白剤、乾燥機は使用しないでください。
- 洗濯後は支柱の形状をよく確認し、上下、左右を絶対に間違えないように入れ直してください。
- 制限角度によっては本体から支柱を外せないことがあります。その場合は、義肢装具士にご相談ください。

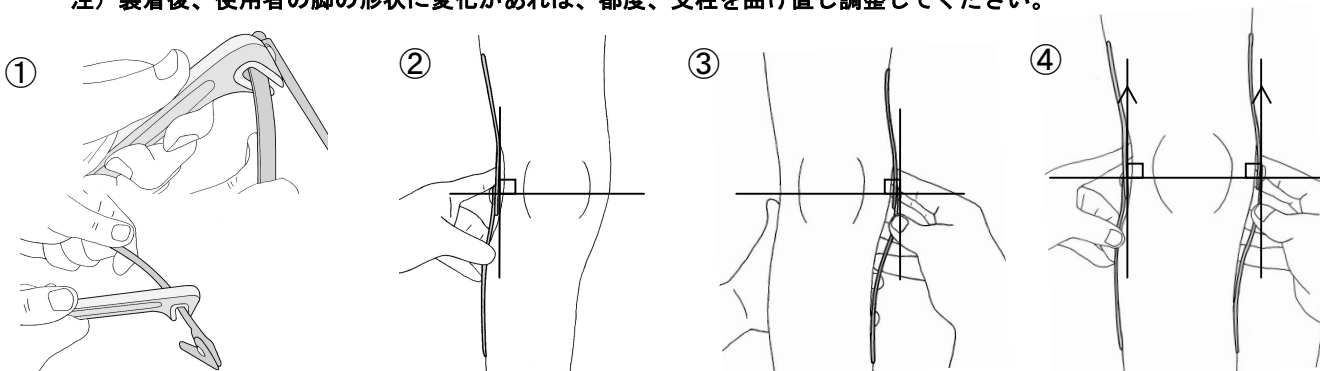
本体構造

- ▶ 本体内蔵の伸び止めは本体前面に3ヶ所あります〔①〕。
- ▶ 下腿部の前方ベルトは下腿部の前方引き出しを防止します〔②〕。
- ▶ 大腿部後方の膝窩ベルトは下腿部前方ベルトのカウンターとなります〔③〕。



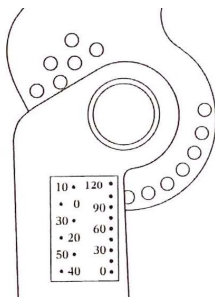
支柱の調整方法（右膝の場合）

- ▶ 装着前にハッカーを使い、装着者の脚の形状に合わせて必ず支柱を曲げ調整してください。〔①〕
注）支柱を曲げる際の膝関節の角度は軽度屈曲位（約20°～30°）です。
- ▶ 膝継手軸を膝蓋骨の中心の真横に合わせ、継手部分にクリアランスを取るよう曲げ調整します。
注）外側支柱を曲げる際は、腓骨頭に注意してください。〔②〕
注）内側支柱を曲げる際は、片方の手で裏から下腿部の筋を押した形状に沿わせてください。〔③〕
注）支柱を曲げる際、継手部分に無理な力が加わると破損する場合がありますのでご注意ください。
- ▶ 両側の支柱の継手軸が膝蓋骨の中心線に対し垂直で、かつ平行になるように設定してください。〔④〕
注）支柱の圧迫による痛みが生じた場合は支柱を曲げ直し、調整してください。
注）装着後、使用者の脚の形状に変化があれば、都度、支柱を曲げ直し調整してください。



ダイヤルロック支柱について

- ▶ 調整にはプラスドライバーを使用します。締め付けが弱いとネジが外れますのでご注意ください。
- ▶ 制限したい伸展・屈曲角度に付属のネジとスペーサーを取り付けます。
- ▶ 制限できる角度を下に示します。
- ▶ ネジの緩みが心配な場合はネジ止め用の接着剤などをご使用ください。
- ▶ 別売のパナナ型スペーサーを使用することで、より細かな角度での固定や強力な屈曲制限が可能です。



伸展制限 0° ~ 50° 6段階（10° 間隔）

屈曲制限 0° ~ 120° 9段階（15° 間隔）

固定 0° 30° 2段階

※別売のパナナ型スペーサーを使用することで10° 20° 40° 50°での固定も可能

※改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

取扱義肢装具製作所

製造・発売元 世界遺産 石見銀山
中村ブレイス株式会社
 本社/〒694-0305 鳥根県大田市大森町ハ132
 TEL(0854)89-0231(代) FAX(0854)89-0018
 東京事務所/〒158-0097 東京都世田谷区用賀1-10-3
 世田谷ビジネススクエア ヒルズⅡ 2F-25号
 TEL(03)3709-9361 FAX(03)3709-9362